

令和4年 **7月**の**思いやり**通信



オール大阪で脱炭素 買い物ポイント上乘せ、府が補助 万博も視野、今秋導入

*温暖化ガス排出量を40%削減する目標を「オール大阪」で実現する動きが本格化。

*大阪府・市や府内企業などは、脱炭素につながる商品の購入で買い物ポイントを付与する新制度を導入することで一致。

*2022年秋から「脱炭素ポイント制度」を実施。

・生産や流通過程で温暖化ガスの排出量が少ない地元商品の購入や使い捨てプラスチックの提供を辞退した消費者に対し、買い物ポイントを上乘せする方針。

*大阪府は温暖化ガス排出量を2030年度までに2013年度比40%削減する目標。

*府域の2019年度の二酸化炭素(CO₂)排出量3858万トンのうち、22%は家庭から排出。うち約6割を個人消費が占めています。

*大阪府は7月に参加する事業者を募集し、10月にも3カ月限定で先行実施。

- ・2023年度以降は対象事業者や機関の拡大を検討。
- ・2022年度の当初予算に約1400万円。
- ・2023年度以降の同事業の予算規模や制度内容は未定。
- ・府は2025年の万博までポイント上乘せ分の一部を補助したい考え。

(2022年6月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



室内や壁に薄膜太陽電池

軽く長寿命、シリコン型の次狙う リコー、来年度に量産

*薄くて軽い有機薄膜型太陽電池の量産計画が本格化。

・ドイツのスタートアップは2022年内、リコーは2023年度に生産を始めます。

*有機薄膜型は樹脂など柔らかい基板の上に印刷技術で材料を重ねて作ります。

- ・製造コストは一般的なシリコン型の半分、重さは同100分の1。
- ・薄くて曲げられて様々な場所に設置できます。

*大規模な量産が計画されているのは建物の壁面などに貼る用途。

(2022年6月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)